

紀伊水道春シラス漁場調査速報

令和7年3月19日

和歌山県水産試験場（電話：0735-62-0940）

漁業調査船「きのくに」は、2025年3月8日から9日に、串本町沖から和歌山市沖にかけて春シラス漁場調査を実施した。調査結果の概要は以下のとおり。イワシ類の仔魚および卵の採集はボンゴネット（口径70 cm、目合0.5 mm）の傾斜曳で行った。

1. 海況

調査日翌日の関東・東海海況速報によると、黒潮は紀伊水道沖で32°45' N付近まで接近した後、潮岬沖を南下して30°N付近まで離岸している。紀伊水道の和歌山県側から暖水が進入し、紀伊水道内域は由良沖まで16℃台、和歌山市付近まで13℃台であった（図1）。

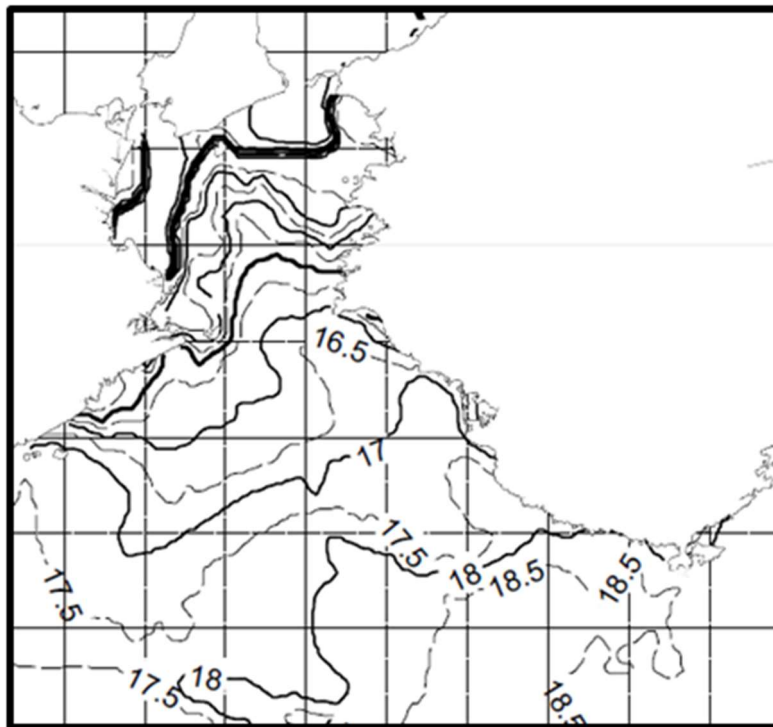


図1 2025年3月10日の水温分布

調査船「きのくに」の観測による表面水温分布と表面塩分分布を図2に示す。水温は由良町～白埼沖で15℃台、湯浅湾から徳島県阿南市沖方向に延びる水温フロントが見られた。フロント以北は海南市沖付近まで11℃台、それ以北は10℃台であった。

塩分は白埼沖以南が34.5 PSU以上、白埼沖から有田市沖にかけて34.5～33.5 PSUに

変化する塩分フロントが見られた。フロント以北は 33.5～33.0 PSU 台であった。

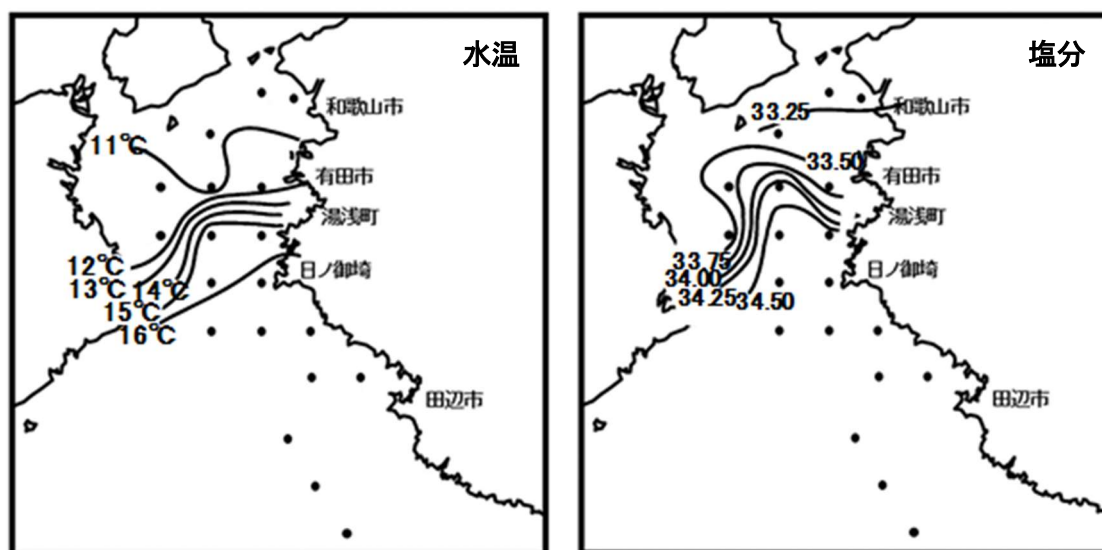


図2 表面水温と表面塩分の分布図（2025年3月8～9日）
（左図は水温、右図は塩分、黒丸は調査定点）

調査船「きのくに」の観測による表層（10 m）の流況を図3に示す。3月8日、すさみ町から御坊市の沖合は、1 kn に近い北西向流であった。紀伊水道内域の流れは弱く、不定流であった。3月9日、紀伊水道内域の和歌山市～海南市沖は、西向流であった。紀伊水道内域から紀伊水道外域の御坊市沖付近までは南下流であった。白浜町～すさみ沖の流れは弱く、不定流であった。江須崎～串本町の沿岸域は、概ね西向きの流れであった。

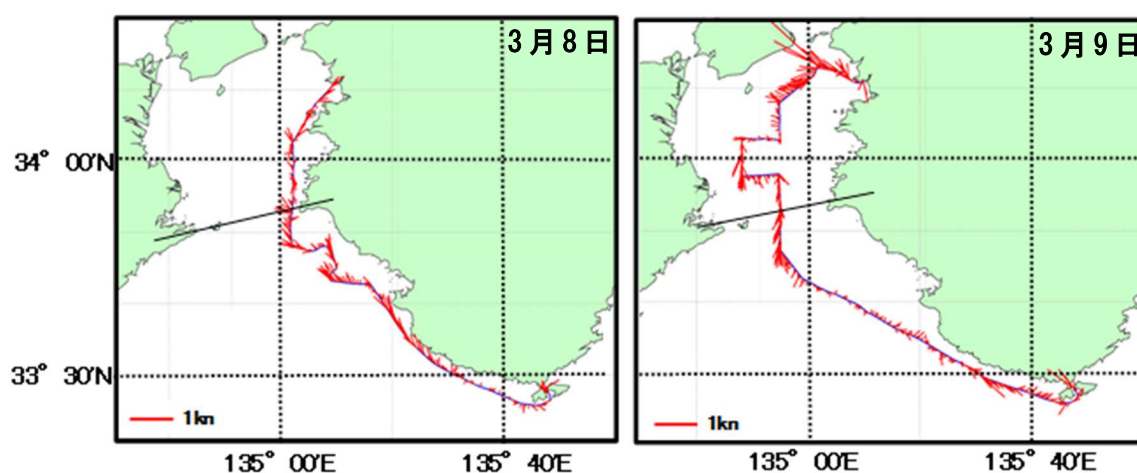


図3 2025年3月8～9日の表層流況図（10 m）
（左図は8日、右図は9日に観測）

2. カタクチイワシ仔魚の採集状況

カタクチイワシ仔魚は昨年に引き続き採集されなかった。

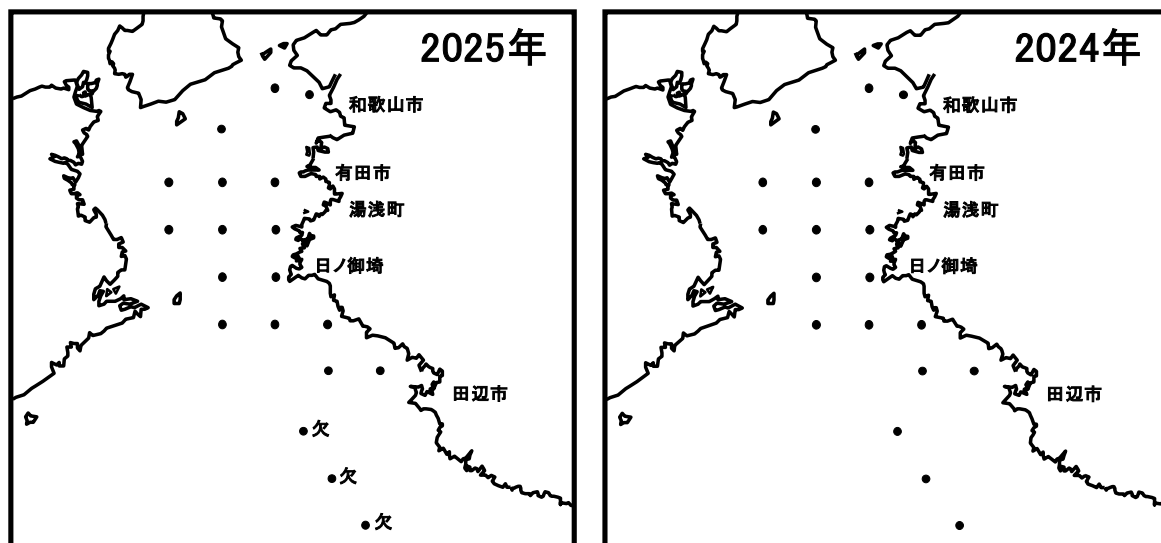


図4 カタクチイワシ仔魚の採集状況
(1 曳網あたりの個体数、黒丸は調査定点)

3. マイワシ仔魚の採集状況

マイワシ仔魚は御坊市沖で1個体のみ採集された(図5)。仔魚の全長は12.2 mmであった。

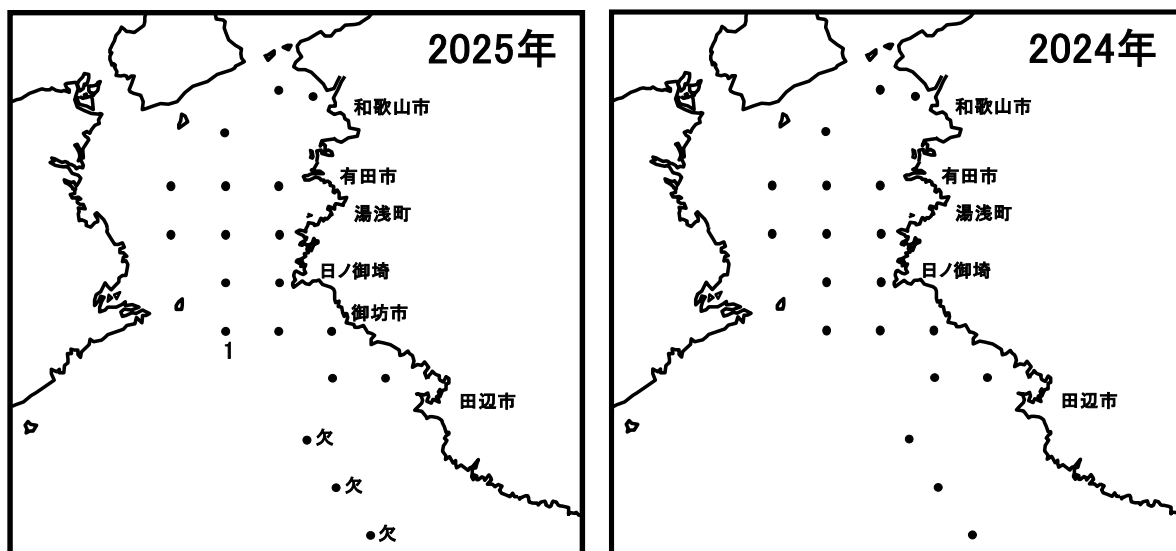


図5 マイワシ仔魚の採集状況
(1 曳網あたりの個体数、黒丸は調査定点)

4. ウルメイワシ仔魚の採集状況

ウルメイワシ仔魚の採集数は昨年を下回った（図6）。仔魚は御坊市沖と白埼沖で採集された。仔魚の全長は、御坊市沖で6.5 mm、白埼沖で7.3 mmであった。

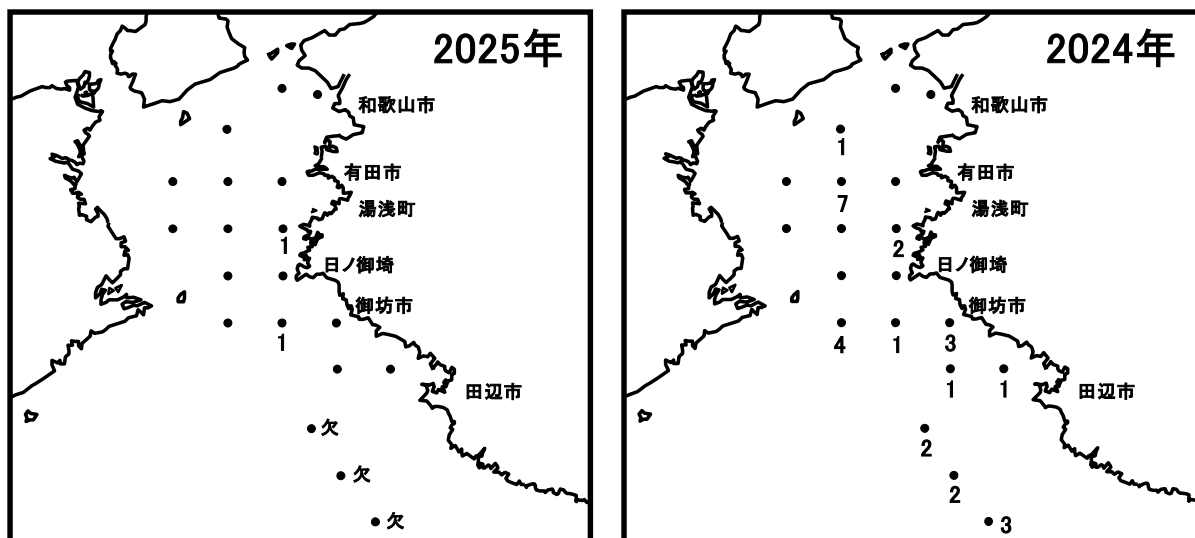


図6 ウルメイワシ仔魚の採集状況
(1 曳網あたりの個体数、黒丸は調査定点)

5. カタクチイワシ卵の採集状況

カタクチイワシ卵は昨年に引き続き採集されなかった（図7）。

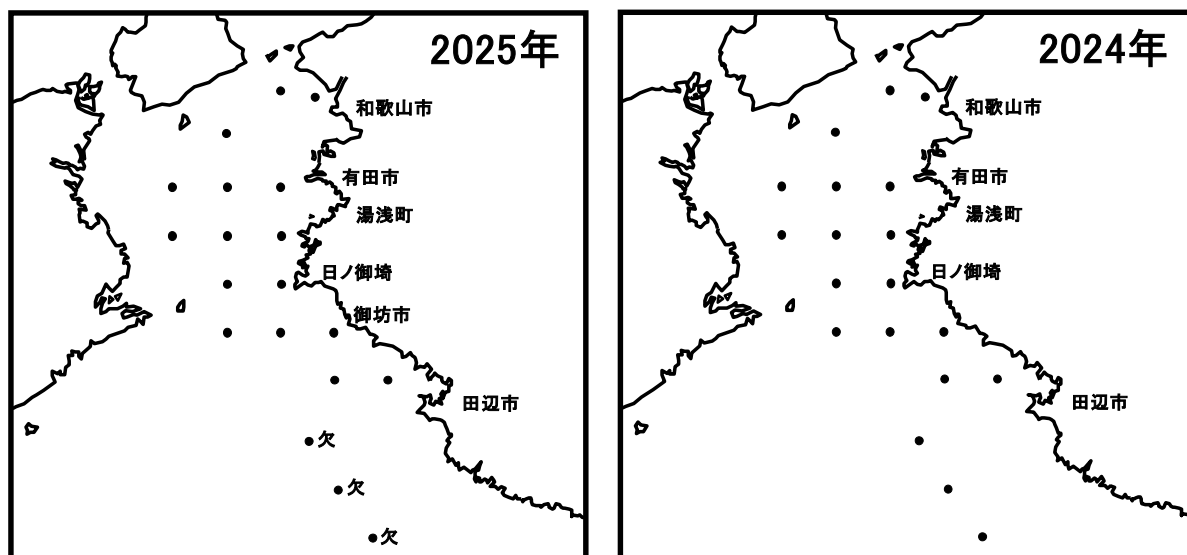


図7 カタクチイワシ卵の採集状況
(1 曳網あたりの個体数、黒丸は調査定点)

6. マイワシ卵の採集状況

マイワシ卵は昨年に引き続き採集されなかった（図 8）。

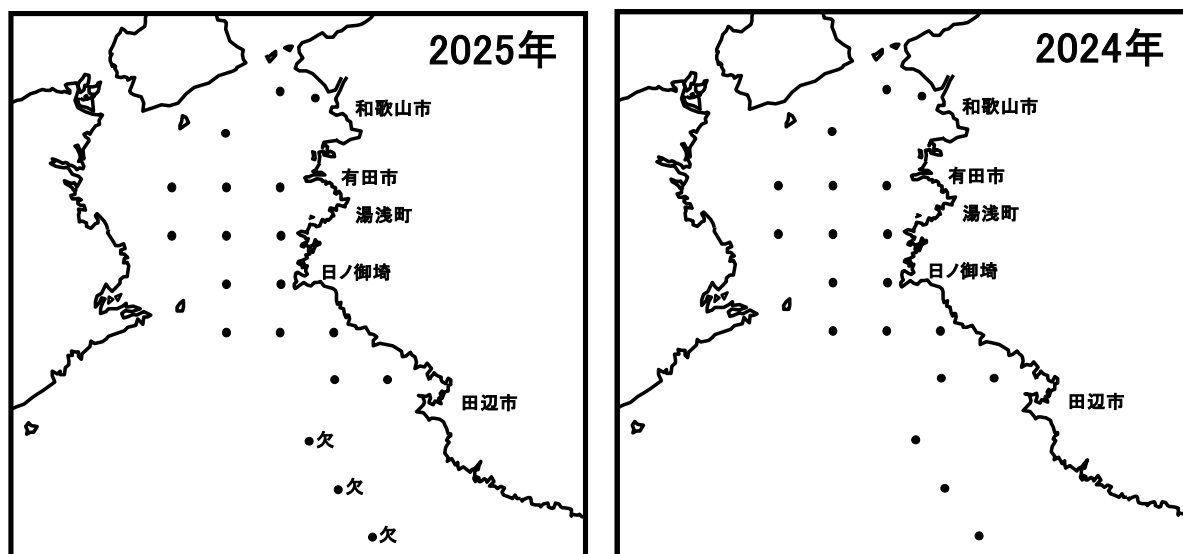


図 8 マイワシ卵の採集状況
(1 曳網あたりの個体数、黒丸は調査定点)

7. ウルメイワシ卵の採集状況

ウルメイワシ卵の採集数は昨年を下回った（図 9）。ウルメイワシ卵は田辺市沖から御坊市沖にかけて採集された。

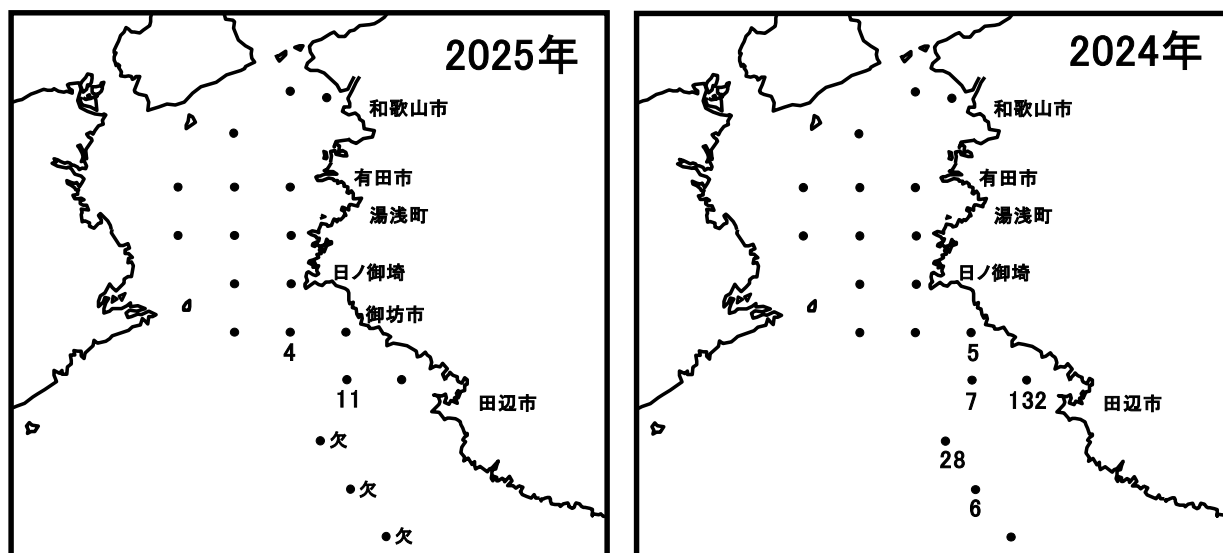


図 9 ウルメイワシ卵の採集状況
(1 曳網あたりの個体数、黒丸は調査定点)

8. 今後の春シラス漁の見通し（予測）

カタクチイワシ仔魚は昨年に引き続き紀伊水道外域（春シラスの補給源）、紀伊水道内域とも分布していなかった。また、卵も分布していなかった。2011 年以降、3 月の紀伊水道外域において、カタクチイワシ仔魚および卵の採集数は少なく、産卵量の減少が顕著である。カタクチイワシシラスの漁獲は 4 月上旬以降まで本格化しないと考えられる。

マイワシ仔魚は御坊市沖に分布していたが少なかった。卵は昨年に引き続き分布していなかった。直近の 4 年間において仔魚および卵はほとんど採集されておらず、産卵量の減少が顕著である。

ウルメイワシ仔魚は御坊市沖と白埼沖に、卵は田辺市沖から御坊市沖に分布していた。しかしながら、仔魚および卵の両方ともが近年では少なかった。これらの仔魚および卵は順調に成長すれば 3 月下旬ごろから漁獲対象になると考えられる。潮岬沖の黒潮は離岸基調で推移すると予測されているものの、紀伊水道内域への暖水流入が確認されており、この暖水によってウルメイワシ仔魚が紀伊水道内域に来遊すると考えられる。